

神の見えざる手

「個人の利益の追求は、見えざる手に導かれて、
その人が意図していなくても社会の利益を増進させる」。
アダム・スミスは『国富論』で唱えた。
どうすれば最大の利益が得られるか、個人が自分で
見つけ出せるようにしておく、市場の自由こそが大切である。
それにより、社会は富裕になり、富や資源の最適配分が
もたらされるはずだ、と。

しかしスミスは、自分の利益のためなら何をしてよい、
と考えていたわけではなかった。
このときすでに倫理学者として高名な存在であった彼は、
個人が客観的に自分の行いを観察し、
フェアプレイの精神をもつことを自由の前提とした。

理論だけでなく、その思いや背景まで学ぶ。
それが、これから生きるあなたのチカラになる。

＃経済用語 ＃神の見えざる手
＃経済描いてみた

「経済」はあなたを強くする。

大阪経済大学

経済学部 経営学部第1部・第2部 情報社会学部 人間科学部